

**第5回  
徳島駅周辺まちづくり計画  
策定検討会 資料**

**平成30年 2月 5日  
都市整備部まちづくり推進課**

■ 徳島駅周辺のまちづくりの基本的な 考え方	P 2
---------------------------	-----

---

## ■ 今回の検討事項

---

1. にぎわい創出に向けたまちづくり施策	P 8
2. 徳島駅周辺まちづくりのスケジュール	P18

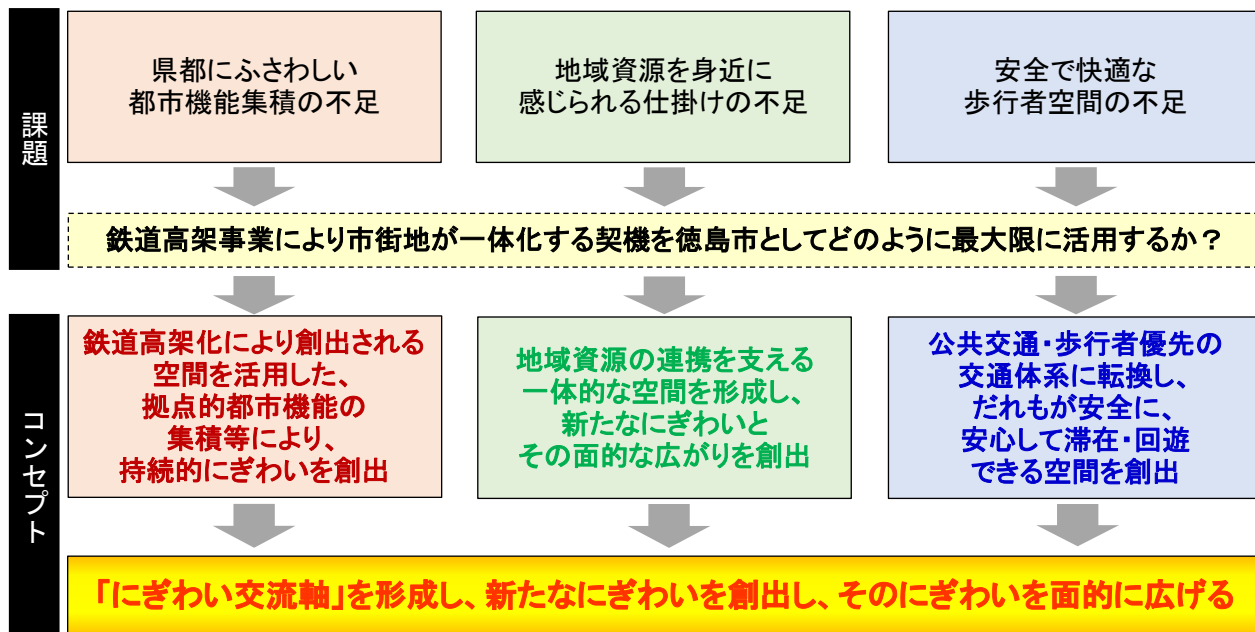
---

## ■徳島駅周辺のまちづくりの基本的な考え方

# 徳島駅周辺のまちづくりの基本的な考え方

## ①まちづくりのコンセプト

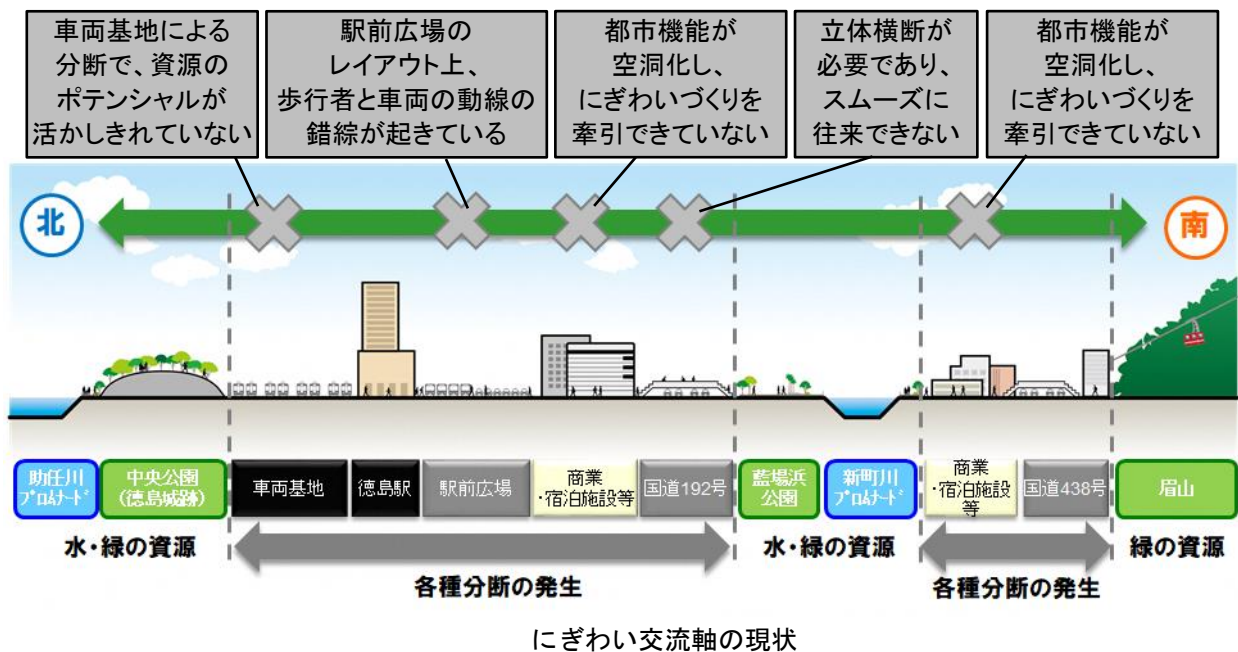
徳島駅周辺のまちづくり上の課題を解決し、徳島駅周辺のまちづくりに大きなインパクトを与える鉄道高架事業の効果を最大に活用するため、以下のまちづくりのコンセプトを掲げます。



現状、中央公園から徳島駅前広場を経由し眉山に至る動線は、多くの要素により分断されています。車両基地による分断は、駅から中央公園方面へのアクセス性を阻害しており、駅に隣接して雄大な緑や歴史があるという徳島駅の大きな立地上の特徴を生かしきれていません。

また、駅前広場については、車両と歩行者の動線が混在し、眉山や新町川といった地域資源につながる動線が明確になっておらず、徳島駅を拠点とした回遊性が生まれにくい状況になっています。

その他都市機能においても、空洞化による分断が発生しており、駅周辺の都市機能と地域資源の連携が保たれておらず、にぎわいにつながらない状況となっています。



このような分断要素を解消し、新たなにぎわいとそのにぎわいの面的広がりを創出するため、各種施策を実施しながら「にぎわい交流軸」(徳島中央公園～徳島駅前広場～眉山)を形成します。

「にぎわい交流軸」の形成においては、駅前広場を中心とした公共空間を、子供から高齢者までの様々な世代の人々が、憩いの場、交流の場、活動の場として利用できる上質で居心地の良い滞留空間と、安全に安心して移動でき、高い回遊性を持った歩行者空間に再編し、車中心から人中心への空間に転換を図ります。

また、駅周辺に整備された魅力的な公共空間や都市機能が一体的に機能し、多くの人が集まり、にぎわいにつながるような仕掛けづくりを、官民で連携して取り組んでいきます。

## 「にぎわい交流軸」の形成

(中央公園～徳島駅前広場～眉山)

- ✓ 都心軸(シンボルゾーン)ならびに南北交流軸を創出するとともに、2つの軸を結節する駅前広場を、人々にとって上質で居心地の良い空間に再編
- ✓ 都市機能誘導やオープンスペース整備、歩行者や公共交通優先の空間づくりを集中的に行い、新たなにぎわいを創出
- ✓ そのにぎわいをまち全体に広げていくための動線の整備



まちづくりのコンセプト図

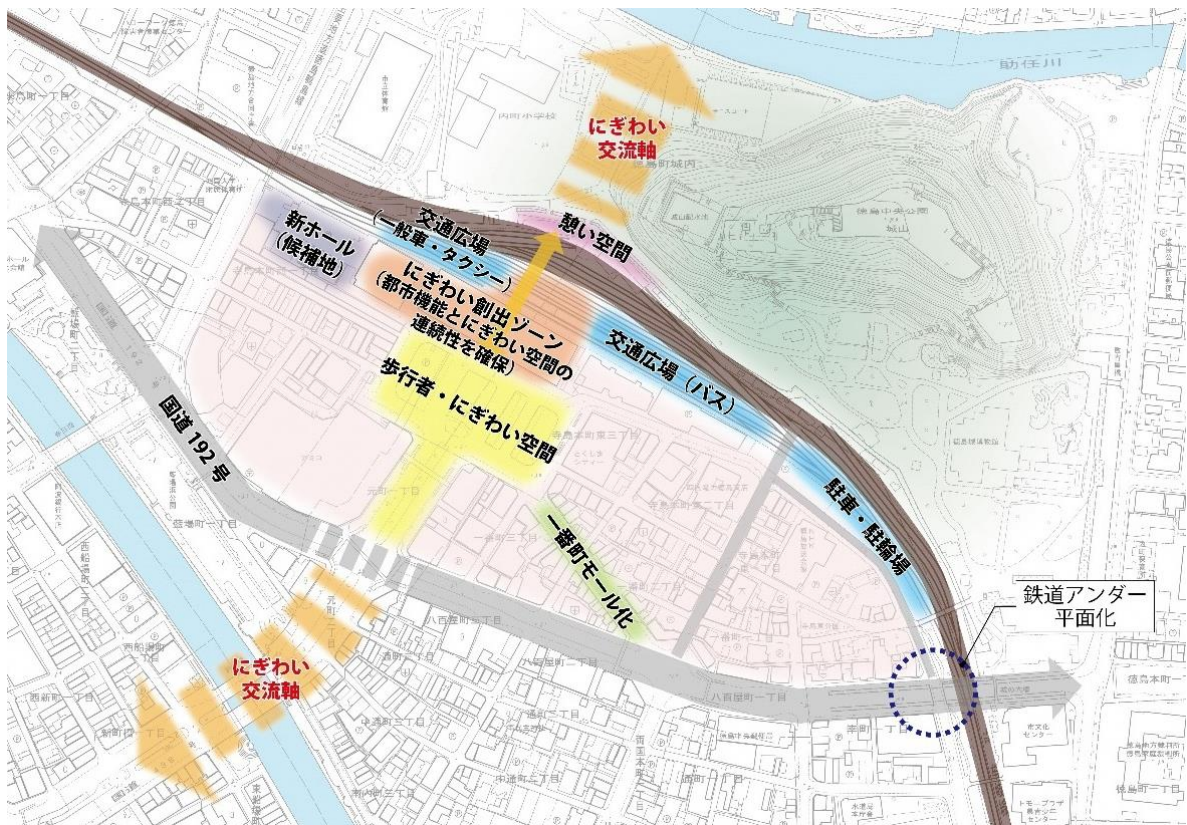


## ②にぎわい交流軸の形成に向けた空間再編の考え方

「にぎわい交流軸」の形成にあたって、交流軸の核となる駅前広場やその周辺の空間再編の基本的な考え方は次のとおりです。

- 「にぎわい交流軸」の中心となる駅前広場を、人が中心の居心地良い空間や新たなにぎわいを創出するための空間に転換するには、既存の公共交通空間に対して、歩行者空間をさらに充実していく必要があります。
- 既存の駅前広場がある駅南側は広場に隣接して多くの都市機能が立地するなど、現在のまちのにぎわいの中心となっています。
- 歩行者空間を充実していくためには、駅前広場の拡張や再整備が必要となりますが、多くの都市機能が立地するがゆえに駅南側では駅前広場として活用できる空間が限られており、車両基地の移転により生み出される空間や既存施設の空間を一体的に捉えて新たな空間を創出する必要があります。
- 一方、駅北側に広がる徳島中央公園は、史跡に指定されていることもあり、駅南側の都市機能などを中心としたにぎわいではなく、歴史を感じることができる憩いの空間として保存・活用し、駅南北で役割を分担します。
- このような駅南北の役割分担を踏まえ、駅前広場等にぎわい空間については、各種都市機能と近接する駅南側で一体的に確保することが望ましく、都市機能の誘導と一体的に空間を整備し、より一層のにぎわいを創出していくこととします。

以上の考え方から、鉄道高架の位置を可能な限り北側（徳島中央公園側）に変更し、駅南側で都市機能と駅前広場空間が一体的につながったにぎわい空間を確保します。



空間再編イメージ

### ③徳島駅周辺まちづくりの将来像と基本方針

徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトとして「にぎわい交流軸」を形成し、駅周辺ならではの地域資源や都市機能と、徳島駅の来訪者をネットワークでつなぎ、より一層のにぎわいを創出していきます。このような考え方から、まちづくりの将来像を次の通りに掲げます。

## “笑顔(ひと)”と“潤い(水・みどり)”がつながり、 にぎわいあふれる水都交流拠点

- ◆ 様々な世代が集い交流できる駅前広場を中心とした「公共空間」と、安全で快適な「歩行者・自転車ネットワーク」や、交通結節点としての利便性が向上した「交通広場」が一体的に機能し、市民をはじめ、駅利用者や来街者をまちに誘い、滞留・回遊を生み、まち全体のにぎわいが広がっている
- ◆ 駅周辺に整備された魅力的な都市機能や公共空間に、人が集まり、にぎわいが生まれ、そのにぎわいが、さらに新たな都市機能等呼び込む好循環が生まれている

まちづくりのコンセプトや将来像の実現に向けて、次の4つのまちづくり方針を掲げます。

#### 基本方針1

四国東部の  
中核都市にふさわしい  
都市機能を集積し、  
にぎわいを創出する

- ◇都市機能の強化・更新・誘導等による都市拠点形成
- ◇鉄道高架事業により生み出される土地や空間などを活用したにぎわいづくり
- ◇文化施設整備等による新たな芸術文化機能の集積・展開
- ◇観光情報の発信
- ◇民間の投資を呼び込むための公共空間の魅力化
- ◇まちなか居住の推進

#### 基本方針2

地域資源を身近に  
感じることができる都市景観と、  
人々が歩いて楽しみ、  
滞留や交流が生まれる  
居心地よい公共空間を創出する

- ◇人が集い、にぎわいに触れられる公共空間の創出
- ◇本市の顔（シンボル）となる玄関口としてふさわしい駅や駅周辺のまちなみ・眺望景観形成
- ◇新町川・助任川の水の資源を感じられる空間の形成
- ◇徳島中央公園や眉山の緑、徳島城の歴史などを楽しめる空間の形成

#### 基本方針3

安全・快適に移動・回遊できる  
人と環境にやさしい  
交通体系や空間を整備し、  
人々の動きやにぎわいを  
まち全体に拡大させる

- ◇安全に移動や待ち合わせ等ができる駅前広場や歩行者空間の整備・機能向上
- ◇鉄道高架事業による鉄道横断動線の整備
- ◇歩行者や公共交通が優先された道路空間の再編
- ◇公共交通の利用促進
- ◇回遊を促すための多様な移動手手段の導入

#### 基本方針4

多様な運営主体による  
まちづくりのハード・ソフト両面の  
取組を強化・支援することで、  
まちのにぎわいと活気をもたらす

- ◇まちづくりを進めるための組織体制
- ◇エリアマネジメントに携わるまちづくりの担い手の育成・確保
- ◇まちづくりの担い手によるソフト施策の推進
- ◇にぎわいを創出するための徳島固有の文化・産業の活用

## ■ 今回の検討事項



# 1. にぎわい創出に向けたまちづくり施策

# にぎわい創出に向けたまちづくり施策

## 基本方針 1

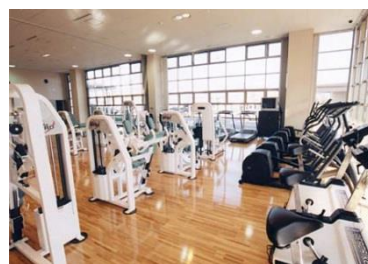
### 四国東部の中核都市にふさわしい都市機能を集積し、にぎわいを創出する

#### ①都市機能の強化・更新・誘導等による都市拠点形成

行政・業務・商業・文化・観光・歴史・スポーツ等、既存機能の強化・更新及び新規機能の導入により、本市の玄関口にふさわしい都市機能を集積し、人々の活動の中心を徳島駅周辺に誘導する。

##### 【県都の役割を担う都市サービス機能の誘導】

- ・買回り品等を販売する商業施設の維持・更新や、ビジネスや観光での来訪者の消費を促す県内の食材を生かした個性ある飲食店、快適な滞在を促す宿泊施設等の充実
- ・徳島駅周辺地域内に集積している既存の医療施設等の機能の維持
- ・築年数が経過している、公共施設等の更新に関する検討
- ・旧文化センター跡地の活用に関する検討
- ・既存施設（公共施設・空き店舗等を含む）を活用したものづくり店舗等や、時間外（目的外）使用についての検討



健康増進サービス施設イメージ

##### 【気軽に運動ができる健康増進施設の誘導】

- ・勤労世代を中心に、普段の生活の中で気軽に運動ができる環境づくりとしての健康増進施設の充実

#### ②鉄道高架事業により生み出される土地や空間などを活用したにぎわいづくり

鉄道高架事業に伴い、車両基地跡地の活用や徳島駅前広場の再整備と連動しながら、駅周辺用地の高度利用を誘導し、シンボル性の高い建物と広場空間の活用によりにぎわいを創出する。

また、高架下空間についても、駅利用者の利便性を高める機能を充実させる。

##### 【徳島駅周辺用地の高度利用】

- ・既存の徳島駅直近の商業地における、  
①建物低層部への都市機能（立地適正化計画における誘導施設等）の導入、②歩行者・にぎわい空間と一体となった環境空間の確保及び高質化、③連続性のある歩行者動線の確保等を条件とした用地の高度利用の誘導（容積緩和）

##### 【高架下空間の活用】

- ・地上レベルにおける駅南北の往来や、公共交通利用者の利便性向上に留意した、高架下空間における商業・サービス施設の誘導



現在の徳島駅北側

#### ③文化施設整備等による新たな芸術文化機能の集積・展開

芸術文化活動の拠点として新ホールを整備するとともに、芸術文化をテーマとした新たな店舗の立地や駅前広場周辺でのイベント開催により、にぎわいを創出する。

##### 【文化施設の整備】

- ・市民の芸術文化活動の拠点となる新ホールの整備

##### 【芸術文化等をテーマとしたにぎわいの創出】

- ・新ホール周辺における、アートギャラリーや工房等の導入促進
- ・徳島駅や周辺の商業施設、歩行者・にぎわい空間と連携した音楽やアート、ファッション、路上パフォーマンス等イベントの開催



ギャラリーのイメージ

#### ④観光情報の発信

観光客へのインフォメーション機能や発信機能の強化、地域資源等を生かしたコンテンツの強化により、魅力あるまちなか観光や滞在型観光を促進する。

##### 【観光案内施設の機能強化】

- ・徳島駅を起点に周遊する観光客に対して、観光・宿泊施設や各地の旬の食材が楽しめる飲食店、イベント等に関する情報を分かりやすく提供する観光案内施設の機能向上や案内サイン等の充実

##### 【伝統文化を伝える施設の魅力化】

- ・にぎわい交流軸を介してつながる阿波おどり会館や眉山について、阿波おどりの歴史や眉山の魅力を伝える取組の実施



事例：大津駅観光案内所 OTSURYI

#### ⑤民間の投資を呼び込むための公共空間の魅力化

駅前広場・歩行者空間の再整備及び歩行者が安全に楽しみながら回遊し、滞在できる仕掛けづくりにより、にぎわいの広がりや連続性を創出する。

##### 【歩行者・にぎわい空間における滞在の仕掛けづくり】

- ・駅前広場の空間再編によって生み出される歩行者・にぎわい空間におけるマルシェ等の定期的なイベントの開催や、阿波おどりの演舞場や練習場としての活用
- ・民間が使いやすい公共空間とする仕組みの検討
- ・子育て層が子連れで出かけられる遊び場や、周辺の店舗等と連携したオープンカフェ等、日常的に市民や来街者の交流や滞留を促す場の設置
- ・川をテーマに活動するNPO法人による、音楽、飲食、水上アクティビティ等水辺のにぎわいづくりとの連携により、まち全体を歩いてめぐる機会を充実



事例：みおつくしプロムナード(大阪市)



事例：天理駅前広場 コフワン

#### ⑥まちなか居住の推進

徳島駅周辺の都市機能集積や利便性を生かした、民間事業者によるまちなかにふさわしい住環境の整備を促進する。

##### 【ターゲットに応じた住宅の供給促進・支援】

- ・水や緑の資源が身近にあり、歩いて健康に暮らすことができる環境の良さと合わせた、高齢者向けの住宅や子育て層向けマンションの供給促進（子育てマンション認定等）
- ・空家情報の提供とリフォームへの助成といった住み替えに対する支援による良質な住宅ストックの維持・更新とまちなかへの居住希望者とのマッチング

##### 【まちなかでの生活サービスの充実】

- ・まちなかでの安心で便利な生活を支える、子育て支援施設の設置・誘導やスーパーマーケット等最寄り品を扱う店舗の誘致



■市立体育館の建て替え等検討

■高架下空間の活用  
(南北の往来)  
(商業・サービス施設の誘導)

■文化施設の整備  
(新ホール建設候補地)

■都市機能とにぎわい空間の連続性の確保  
(気軽に運動ができる健康増進施設の誘導)

■芸術文化をテーマとしたにぎわいの創出  
(アートギャラリーや工房の導入促進)  
(各種イベントの開催)

■観光案内施設の機能強化

■旧文化センター跡地の活用

■徳島市の伝統文化を伝える施設の魅力化  
(阿波おどりの歴史や眉山の魅力を伝える取り組みの実施)

凡 例

- 歩行者・にぎわい空間における滞在の仕掛けづくり
- 徳島駅周辺用地の高度利用  
(低層部への都市機能の導入や歩行者・にぎわい空間と一体となった環境空間の確保等)
- 県都の役割を担う都市サービス機能の誘導
- ターゲットに応じた住宅の供給促進・支援
- まちなかでの生活サービスの充実  
(スーパーマーケット等最寄り品を扱う店舗の誘致)

施策展開図

## 基本方針 2

# 地域資源を身近に感じることができる都市景観と、人々が歩いて楽しみ、滞留や交流が生まれる居心地よい公共空間を創出する

### ①人が集い、にぎわいに触れられる公共空間の創出

徳島駅前広場等の空間を再整備し、多彩なイベントや文化芸術活動等が開催できる空間を整備する。特に、にぎわい交流軸上では、歩行者や自転車優先の空間への再編を進め、にぎわい創出につながる公共空間を連続的に整備する。

#### 【歩行者・にぎわい空間の整備】

- ・現状の駅前広場の空間の再編による、車両優先の空間の減少及び歩行者が安全に滞留、にぎわいの創出につながる空間の拡充
- ・駅前広場から連続する道路空間（国道438号や一番町の通り）について、車道と歩道の空間の再編による歩行者・自転車空間の拡充
- ・徳島駅や駅南側の歩行者・にぎわい空間から中央公園側にアクセスする際の徳島駅北側における公園エントランス空間の整備
- ・イベント利用を考慮した電気・水道等のインフラ整備



出典：旭川市HP



事例：空間再編によって生み出されたゆとりある歩行者空間（旭川市・姫路市）



事例：日向市駅前広場の交流広場

### ②本市の顔（シンボル）となる玄関口としてふさわしい徳島駅や駅周辺のまちなみ・眺望景観形成

駅前におけるシンボルアートやモニュメントの整備、公共空間における植栽や緑化、照明技術を駆使した効果的な夜間景観の演出等、玄関口にふさわしいシンボル景観を形成する。

#### 【歩行者・にぎわい空間のデザイン】

- ・徳島らしさと四季を感じられる、同一のコンセプトによりデザインされた植栽や照明、歩道、ベンチ等
- ・石や木といった経年変化により味わいを増す素材の使用等、長期にわたり良好な景観を維持する空間のデザイン
- ・植栽や緑化の充実及び、道路協力団体等市民との連携による良好な状態の維持管理
- ・歩行者・にぎわい空間における夜の回遊や滞在を促すための、LEDを用いたイルミネーションやライトアップによる演出



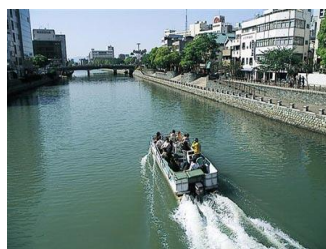
事例：素材や植栽に留意した休憩スペース（甲府駅）

### ③新町川・助任川の水の資源を感じられる空間の形成

ひょうたん島川の駅ネットワーク構想に掲げる、川の駅・停留所の将来的な整備により、水を感じられる空間を拡充する。

#### 【水辺に親しめる空間や機会の充実】

- ・新町川水際公園ボートハウス前栈橋に加え、新町橋や助任橋のたもとへの新たな栈橋整備による、水辺を通じた回遊機会の充実
- ・かつて徳島城の天然の外堀であった寺島川の復元や石垣の再生による水辺空間の充実
- ・川沿いの建物について、水辺空間に向けた顔づくりを景観基準に基づき誘導



ひょうたん島クルーズ



現在の寺島川



#### ④ 徳島中央公園や眉山の緑、徳島城の歴史などを楽しめる空間の形成

徳島中央公園や眉山等の公園・緑地空間については、植栽や樹木等の適切な維持管理とともに、利用ニーズに応じたサービス施設の充実、アクセスしやすい動線の確保等により、利用を促進する。

##### 【徳島中央公園の魅力化】

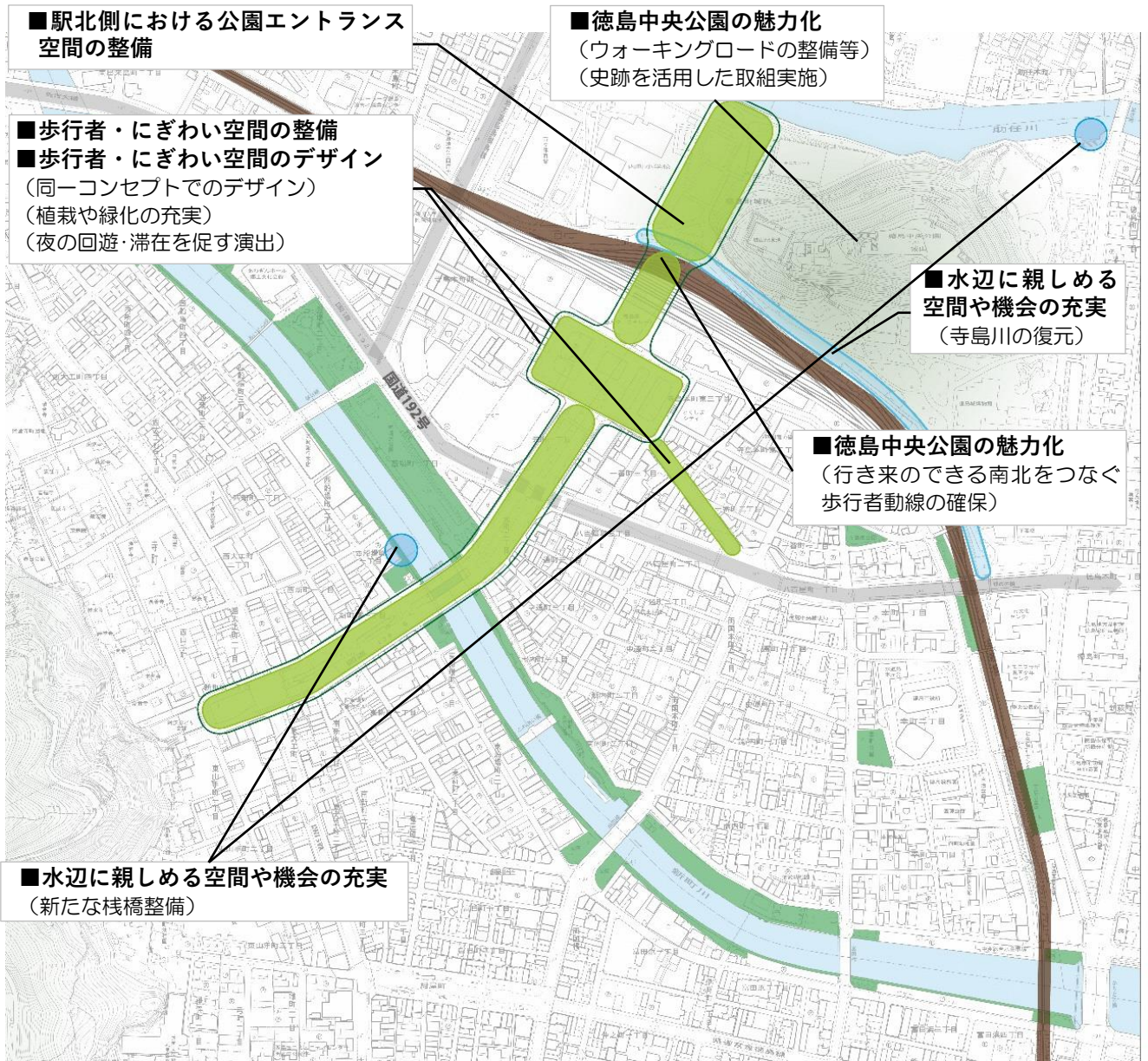
- ・ 周辺の歩行者空間とのネットワークによるウォーキングロードの整備
- ・ 史跡を活用した歴史を学べる取組の実施
- ・ 中央公園が駅南側の市街地から身近に感じられ、行き来のできる南北をつなぐ歩行者動線の確保



ウォーキングの場としての活用イメージ



新町橋通りから見える眉山



施策展開図

### 基本方針 3

## 安全・快適に移動・回遊できる人と環境にやさしい交通体系や空間を整備し、人々の動きやにぎわいをまち全体に拡大させる

#### ① 安全に移動や待ち合わせ等ができる駅前広場や歩行者空間の整備・機能向上

駅前広場の交通施設と歩行者空間の配置を見直し、駅正面の空間にはまとまった規模の歩行者・にぎわい空間を創出するとともに、車両と歩行者の動線を見直し、公共交通利用者や徳島駅周辺来訪者が分かりやすく利用できる駅前空間へと再整備する。

景観性や統一感を有した案内サインの設置、情報機能の充実

雨に降れず移動できる動線（屋根シェルターの設置等）



事例：高松市キャノピー設置

##### 【駅前広場の施設配置の見直し】

- わかりやすく利便性の高い交通施設の配置、来訪者にもわかりやすい利用案内・情報提供による円滑な乗り換え、乗り継ぎ機能の強化（景観性や統一感を有する案内サインの設置、情報機能の充実、乗り継ぎ動線の確保）
- 車両動線と歩行者動線を分離し、わかりやすい動線で利便性の高い交通結節空間づくり

##### 【歩行者ネットワークの形成】

- 駅南の歩行者・にぎわい空間及び徳島中央公園から眉山に至るにぎわい交流軸を中心とした歩行者ネットワークの形成
- 外国人観光客にも配慮した、ピクトグラムを活用した案内サインの導入

公共・一般施設図記号



「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」概要

#### ② 鉄道高架事業による鉄道横断動線の整備

鉄道高架事業を推進し、鉄道の高架化を図りつつ、道路ネットワーク整備を推進する。

国道 192 号アンダー部



##### 【鉄道横断動線の整備】

- 国道 192 号の都市計画道路の 4 車線整備（鉄道アンダー部分）
- 市役所前道路の整備

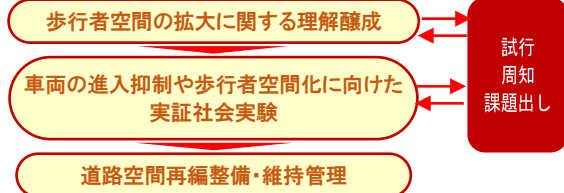
#### ③ 歩行者や公共交通が優先された道路空間の再編

駅前から阿波おどり会館に至る国道 438 号や一番町の道路空間を見直し、歩行者や公共交通のための空間を拡大するとともに、通過交通の通行を抑制することにより、市民や来訪者の回遊を創出する。

##### 【国道 438 号・新町橋通りの道路空間再編】

- 空間再編に向けた社会実験の実施、社会実験結果を受けた道路空間の再整備

＜国道 438 号 新町橋通の道路空間再編イメージ＞



##### 【一番町のモール化】

- 通過交通の抑制による歩行者・自転車優先の空間再編

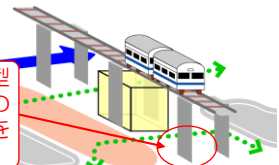
#### ④ 公共交通の利用促進

徳島駅及び周辺施設利用者が利用しやすい駐車場や駐輪場を整備する。鉄道高架下へ駐車場・駐輪場の導入イメージ

##### 【鉄道高架下へのパーク＆ライド型駐車場・駐輪場の導入】

- 鉄道の利用促進を図るため、徳島駅発着路線の利用者のための駐車場や駐輪場を整備して、料金の無料又は割引サービスを実施

パーク＆ライド型駐車場や駐輪場の高架下への導入を検討





#### ④公共交通の利用促進（続き）

徳島駅及び周辺施設への来訪、及び徳島市中心部居住者の日常生活において、公共交通の利用を促進するための取組を推進する。

##### 【公共交通が相互に連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再編】

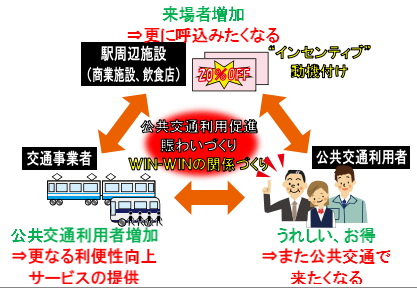
- 公共交通の利用促進のため、鉄道と路線バスが相互に乗り継ぎしやすい運行内容に見直しするなど、利便性の高い公共交通ネットワークの再編を検討
- 運行情報等のリアルタイムの情報提供

##### 【鉄道・バス利用に関するインセンティブの付与】

- 公共交通の利用に向けた動機づけの検討、企業や商業施設との連携の検討

##### 【四国まるごと公共交通利用促進キャンペーンの継続実施】

- 徳島中央公園にて、年1回イベントを実施
- 普段、走っている路線バスにお絵かき、後日路線バスとして運行等

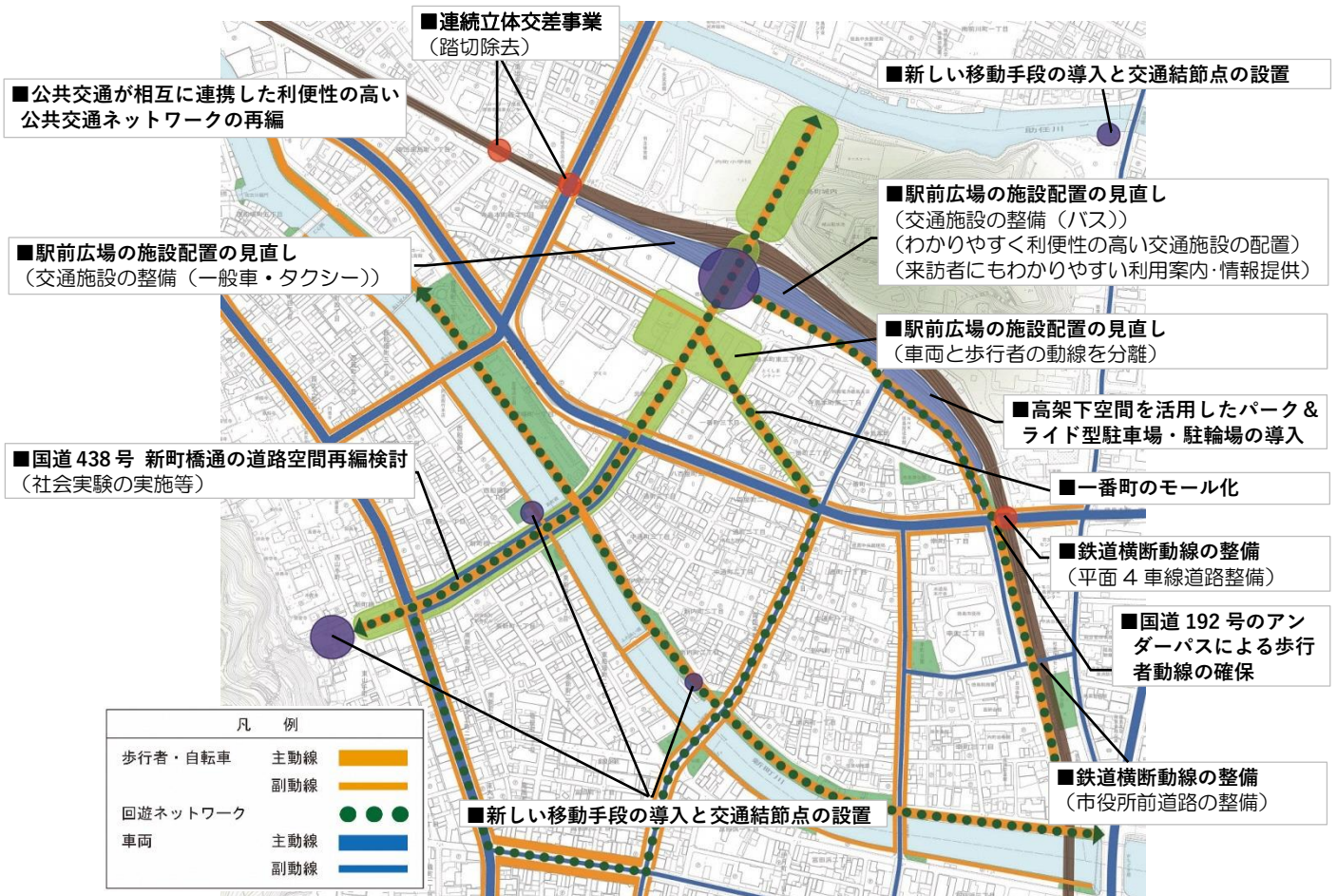


#### ⑤回遊を促すための多様な移動手段の導入

徳島駅周辺歩行者空間や水辺等を楽しみながら回遊できる回遊性、機動性の高い移動手段を導入する。

##### 【新しい移動手段の導入と交通結節点の設置】

- 中央公園や眉山へのアプローチや回遊のための移動手段及び交通結節点の設置
- 新町川・助任川の周遊のための移動手段及び交通結節点（川の駅）の充実



施策展開図

## 基本方針 4 多様な運営主体によるまちづくりのハード・ソフト両面の取組を強化・支援することで、まちににぎわいと活気をもたらす

### ①まちづくりを進めるための組織体制

徳島駅周辺のまちづくりには、行政内の縦割りを超えた連携や、官民協働でまちづくりに取り組める仕組みが必要である。徳島駅周辺のまちづくりを効果的に進めるため、外部専門家の招へいも含めた組織体制により、まちづくりについて検討する。

#### 【まちづくりを進めるための組織体制づくり】

- ・ 市内連携や官民協働の形を探るため、民間公募や地域力創造アドバイザーの活用等を含め、まちづくりを進めるための組織体制について検討

### ②エリアマネジメントに携わるまちづくりの担い手の育成・確保

徳島駅周辺のまちとしての価値を高め、暮らしやすく、来訪したくなる環境を整えるためには、公共だけでなく、民間が積極的に特定のエリアのまちづくりや地域経営を行う「エリアマネジメント」の取組が重要であることから、官民協働型のまちづくりを行うため、その主体となる担い手を育成・確保する。

#### 【担い手育成】

- ・ 新たなまちづくりの担い手として、多様な人材を巻き込むとともに、都市再生推進法人制度<sup>\*1</sup> や道路協力団体制度<sup>\*2</sup> を活用し、収益性を持ってまちづくりに取り組める担い手を育成・確保
- ・ 育成した担い手（多様なまちづくり団体）と公共が連携しながら、魅力やにぎわいを創出する仕掛けや仕組みづくりを実施

※1 都市再生推進法人制度：地域のまちづくりを担う法人として、行政の補完的機能を担いうる団体を指定するもの。指定を受けた団体は、国等の支援を受けながらまちづくりに関する取組を実施。公共空間での収益活動が可能となり、その収益をまちづくりに還元（都市再生特別措置法に基づく制度）

※2 道路協力団体制度：道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取組む民間団体等を支援するもの。道路空間を活用した収益活動が可能となり、その収益で道路の管理に還元（道路法に基づく制度）

### ③にぎわいを創出するための徳島固有の文化・産業の活用

本市に固有の文化・産業を生かし、新たなにぎわいと交流の促進を目指す。

#### 【本市固有の文化・産業の体験】

- ・ 徳島の伝統産業の藍染めや地場産業の木工業、LED 工作等の工芸体験や制作現場見学などのコンテンツを提供し、観光客（特にインバウンド）を引き付ける取組を実施
- ・ 観光客が文化・産業に触れながら市民との交流を促進
- ・ 取組の実施にあたっては、商店街の空き店舗等をリノベーションするなど、周辺施設との連携にも配慮



藍染体験




空き店舗のリノベーション




#### ④まちづくりの担い手によるソフト施策の推進

都市再生推進法人等が、駅前広場や道路等の公共空間を有効活用し、人が来る目的づくりを行い、まちのにぎわい・交流の創出や来街者の利便促進に寄与するための様々な取組を実施する。


##### 【公共空間におけるイベントやプロモーション活動】

想定される場所	にぎわい創出に向けた活動例
徳島駅前広場、 道路・歩道空間、 水辺空間、 公園・緑地空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者向けの空間を活用した多彩なイベント（阿波おどり関連イベント、まちなかマルシェなど）</li> <li>みどりや水の空間を活用したアクティビティ（まち歩きツアー、リバーサイドクルーズなど）</li> <li>地域資源に関する情報発信や、観光プロモーション活動の誘致</li> <li>美化清掃活動、植栽活動 など</li> </ul>  <p style="text-align: right;">まちなかマルシェ</p>

##### 【滞留や回遊の相乗効果を発揮する導入機能や配置、景観誘導】

想定される場所	にぎわい創出に向けた活動例
商業施設、 商店街（空き店舗 ・空き事務所）、 文化施設など	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の屋外空間と公共空間（歩行者空間）を連続的に利用した休憩所やオープンカフェ等の設置</li> <li>徳島駅周辺地域における回遊ルートの設定と誘導サインの掲示</li> <li>回遊ルート沿道店舗のファサードの調和等を図る景観誘導</li> <li>芸術・文化等のテーマにつながる店舗の誘致、テナントミックス（空き店舗を活用したチャレンジショップ、テーマ性を持った飲食店、来訪者向けの物産店、学生や外国人も利用しやすいゲストハウスなど）など</li> </ul>  <p style="text-align: right;">オープンカフェ</p>

##### 【にぎわいの連続性を生み出す駐車場や駐輪場の配置・管理】

想定される場所	にぎわい創出に向けた活動例
駐車場、駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者動線を分断しない位置への駐車場及び出入口の配置</li> <li>駐輪しやすいスペースの確保</li> <li>レンタサイクル・コミュニティサイクル等の運営など</li> </ul>  <p style="text-align: right;">コミュニティサイクル</p>



## 2. 徳島駅周辺まちづくりのスケジュール

# 徳島駅周辺まちづくりのスケジュール

実施時期		短期（概ね5年以内）	短中期（概ね10年以内）	中期（概ね20年以内）	長期（概ね20年以降）
徳島駅周辺まちづくり 基本方針1 都市機能・にぎわい	①都市機能の強化・更新・誘導等による都市拠点形成	<b>気軽に運動ができる健康増進サービス施設の誘導</b> <b>県都の役割を担う都市サービス機能の誘導</b> （商業・飲食・宿泊等機能の充実、旧文化センター跡地の活用、市立体育館の建て替え等検討）			
	②鉄道高架事業により生み出される土地や空間などを活用したにぎわいづくり			民間の資金力、組織力、事業遂行能力の活用策の検討	<b>徳島駅周辺用地の高度利用</b> <b>高架下空間の活用</b>
	③文化施設整備等による新たな芸術文化機能の集積・展開	<b>文化施設の整備</b> <b>（新ホールの整備）</b>	芸術文化等をテーマとしたにぎわいの創出（アートギャラリーや工房等の導入促進）（各種イベントの開催）		
	④観光情報の発信	<b>観光案内施設の機能強化</b>	<b>伝統文化を伝える施設の魅力化</b> （阿波おどりの歴史や眉山の魅力を伝える取組の実施）		
	⑤民間の投資を呼び込むための公共空間の魅力化	歩行者・にぎわい空間における滞在の仕掛けづくり（定期的なイベントの開催等）（日常的に交流や滞留を促す場の設置）			
	⑥まちなか居住の推進	<b>ターゲットに応じた住宅の供給促進・支援</b> まちなかでの生活サービスの充実（スーパーマーケット等店舗の誘致）			
徳島駅周辺まちづくり 基本方針2 都市景観・公共空間	①人が集い、にぎわいに触れられる公共空間の創出	歩行者・にぎわい空間の施設配置、デザイン等の検討・関係機関との協議調整等			歩行者・にぎわい空間の整備
	②本市の顔（シンボル）となる玄関口としてふさわしい徳島駅や駅周辺のまちなみ・眺望景観形成	<b>植栽や緑化の充実、維持管理・LEDによるイルミネーション、ライトアップ等</b>			歩行者・にぎわい空間のデザイン
	③新町川・助任川の水の資源を感じられる空間の形成	徳島中央公園の魅力化（史跡を活用した取組の実施）（周辺の歩行者空間とのネットワークによるウォーキングロードの整備等）			
	④徳島中央公園や眉山の緑、徳島城の歴史などを楽しむ空間の形成	<b>水辺に親しめる空間や機会の充実</b> （新たな栈橋整備、寺島川の復元等による水辺空間の充実）			
徳島駅周辺まちづくり 基本方針3 交通体系	①安全に移動や待ち合わせ等ができる駅前広場や歩行者空間の整備・機能向上	（既存区域内でのわかりやすい利用案内・情報提供による乗換・乗継機能の改善等）		（施設配置の検討）	<b>駅前広場の施設配置の見直し</b> <b>歩行者ネットワークの形成</b>
	②鉄道高架事業による鉄道横断動線の整備				<b>鉄道横断動線の整備</b> （市役所前道路の整備等）
	③歩行者や公共交通が優先された道路空間の再編	<b>国道438号の道路空間再編</b> <b>一番町のモール化</b> （※計画検討、社会実験）			<b>国道438号の道路空間再編</b> <b>一番町のモール化</b>
	④公共交通の利用促進	<b>鉄道・バス利用に関するインセンティブの付与</b> <b>公共交通が相互に連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再編</b>			
	⑤回遊を促すための多様な移動手段の導入	<b>新しい移動手段の導入と交通結節点の設置</b>			
徳島駅周辺まちづくり 基本方針4 まちづくり担い手	①まちづくりを進めるための組織体制の検討	まちづくりを進めるための組織体制による検討			
	②エリアマネジメントに携わるまちづくりの担い手の育成・確保	担い手育成			
	③にぎわいを創出するための徳島固有の文化・産業の活用	本市固有の文化・産業の体験			
	④まちづくりの担い手によるソフト施策の推進	<b>公共空間におけるイベント活動やプロモーション活動</b> <b>滞留や回遊の相乗効果を発揮する導入機能や配置、景観誘導</b> <b>にぎわいの連続性を生み出す駐車場や駐輪場の配置・管理</b>			

緑字：ハード的な取組    青字：ソフト的な取組